

# 学ぶところが輝く学校

茅ヶ崎市立汐見台小学校

学校だより 9月号

令和7年 9月 1日

校長 楠山 小百合

## 個性あふれる笑顔な汐小へ！

記録的な暑さが続く夏休みが終わり、前期後半がスタートしました。子どもたちのにぎやかな声が、また学校にもどってきました。屋上の田んぼでは稲の花が咲き、穂をつけ始め、季節は「実りの秋」へと向かっているようです。子どもたちも夏休みの間にいろいろな体験をして一回り大きく成長したことでしょう。

今年の学校のスローガンは、「個性あふれる笑顔な汐小へ！」です。運営委員会を中心にして、それぞれの学級の意見を一つにまとめて決めました。体育館の窓に貼られたスローガンの文字は、各学級でデザインし、みんなで協力して完成させました。一枚一枚に子どもたちの想いがこもったすてきな作品です。どの子も自分のよさを発揮して、みんなの笑顔が輝く汐見台小学校にしてほしいと私も期待しています。



秋は、運動会をはじめ6年生の修学旅行など、子どもたちにとって今までの学習の成果を発表したり、節目となる行事が続きます。子どもたちが、それぞれのめあてに向かって、仲間とつながり、知恵を出し合い、豊かな学びを展開できるよう力を入れて取り組んでいきます。

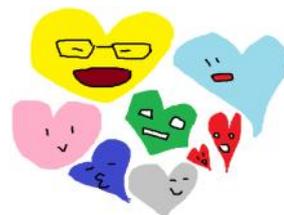
秋は、運動会をはじめ6年生の修学旅行など、子どもたちにとって今までの学習の成果を発表したり、節目となる行事が続きます。子どもたちが、それぞれのめあてに向かって、仲間とつながり、知恵を出し合い、豊かな学びを展開できるよう力を入れて取り組んでいきます。

### “心のコップ”のお話

夏休み明けの朝会で、「心のコップ」という話をしました。

「いじめはゆるされないこと」、「自分の心のこと」「友だちの心のこと」人には一人ひとりの心があり、互いを認め合い、思いやる気持ちを大切にしていくことを伝えました。ご家庭でも話題にしてみてください。

人には、一人ひとり「心」があります。  
「心」は、一人ひとり違います。  
「心」の中には、「心のコップ」があります。  
「心のコップ」は、目に見えません。  
大きさもバラバラです。大きい人もいれば、小さい人もいます。



「心のコップ」が空っぽのときは、元気なときです。

でも、その人が「つらいな」「悲しいな」「苦しいな」と思うと、水が入ります。

イヤな時にはたくさんの水が入ります。ちょっとイヤなときには少しの水が入ります。

ちょっとイヤなことでも何度もされると、コップに水がどんどん入ります。

「ポチャン、ポチャン」と水がたまります。

「ポチャン、ポチャン、……」

そして、「心のコップ」の水があふれてしまったとき、

人は、イライラしたり、暴れたり、とても悲しい気持ちになったりします。

水がたまらないようにするためには、どうしたらいいかな。

あなたは、友だちの「心のコップ」に水を入れていないかな。



### 『あいさつ』=『あかるく いつでも さきに つなぐ』ことばをとどけよう！

夏休み明けも、自分のことを見守ってくださっている皆さんに「あいさつ」で感謝の気持ちを伝えられたらいいですね。「あいさつすると気持ちがいいな♪」と思えるステキな関係づくりをすすめていきましょう。

\*「あいさつ見守り隊」「こえかけリボン」の地域の皆様、夏休み明けもどうぞよろしく願いいたします。

